



ユツユツ とこどん

うららかに たくましく ~ 耕し 萌えたち みのらせ さきみだる~

大仙市立太田中学校
令和3年12月14日
NO. 101



太田地域の方から得られる 多くの学びに感謝して

大仙市の各地域には、「地域学校協働本部」が設置されています。

「地域学校協働本部」？聞き慣れない言葉かと思いますが、地域の人的・物的資源を積極的に学校教育活動へ活用することで、学校を核とした地域コミュニティの活性化を目指す組織です。

もちろんこの太田地域にもあり、公民館に事務局を置いて、『地域で学校を支援する仕組みづくりを促進し、子どもたちの学びを支援するだけでなく、地域住民の生涯学習・自己実現に資するとともに活動を通じて地域のつながり・絆を強化し、地域の教育力の向上を図ること』を目的としています。その目的を達成するために、実際には次の活動を行っています。

- ①学習支援活動 ②部活動支援活動
- ③郷土学習支援活動 ④安全指導活動
- ⑤環境美化活動
- ⑥その他、目的達成に必要な活動

これまで、コロナ禍の状況を見据えながら、たくさんの学校外部の方々をお招きし、行事や花壇活動、授業等の手助けをしていただいています。以前の号にも載せましたが、学校外部の方との関わりはキャリア教育そのものであり、学びを深め、社会性・豊かな心等の今必要とされる資質・能力の育成に大きくつながるものです。加えて、それが地域の方であるならば、地域とのつながりや地域への思いが一層深まる「ふるさと教育」です。

太田地域以外の方々をお招きする時は、学校が直接お願いすることがほとんどですが、太田地域の方々をゲストティチャーとしてお願いしたいときには地域学校協働本部に依頼、太田中の地域学校協働活動推進員（安達成年さん）にコーディネートいただき、学校の実情に応じた太田地域の人材を紹介いただいています。今年度本校では、特に授業での指導・支援に力を入れたいと考え、各教科でその道の専門の方を紹介いただいています。コロナの状況に好転の兆しが見える11月以降多くの地域の方々にお手伝いいただき授業を進めています。

その中の、二つ、1年生の総合と2年生の家庭科を12月10日（金）に実施しました。



1年生総合での「太田の農業について」の学習では、農業振興情報センターの小林崇元さんを講師に、太田の農業や流通に関する現状を説明していただき、多くの質問にも丁寧に答えていただきました。真剣な態度で授業に臨んだ1年生は、たくさんの情報を得て、この後自分のテーマに沿ったレポートを作成します。



2年家庭科「住まいの工夫」では、高橋建築の高橋康彦さんから住みやすい住環境や間取り、住空間のポイントについて、自分たちが考えたことと実際との違いについて教えていただきました。



高橋さんの視点
仕切りが少ない
無駄のない動線
お客さんに好まれる
使いやすい
夢がある、シンプル

教科書で学ぶことに加え、その道のプロの考えを伺ったり、アドバイスをいただくことで実生活に生きる学びにつながった1時間となりました。